

どろんこだいすき

令和 7 年 6 月 2 日
千代田区立昌平幼稚園
園長 大川 美紀子

『昌平キッズ』ビオトープだより NO. 235

5月は土となかよしや田植えがあり、園庭にはそれぞれのクラスの子どもたちが大切に育てている栽培物がたくさんあります。野菜や花、稲を植えて世話をするだけでなく、そのための土作りにも楽しんで取り組んできた子どもたちの様子をお知らせいたします。

田植えに向けて…

稲の根がしっかり根を伸ばせるよう柔らかい土にするため、田起こしをしました。今年度は田起こしの日までに雨が多かったためか、昨年度よりも柔らかい田んぼでした。子どもの膝下くらいまで沈み込むくらい柔らかく、「柔らか〜い!」「(足が沈んで)動けな〜い!」と、昨年度とは異なる泥の感触に大喜びしていました。また、初めは担任と手をつないで入ってみる子、バケツやたらいに取った泥に触れてみる子もあり、それぞれのペースで泥に触れることを楽しみました。きりん組が田起こしをした後には、4歳児うさぎ組の子どもたちも田起こしをしました。

きりん組はAGRI BATON PROJECTの方をお招きし、稲作についてお話していただきました。実際に長年稲を育てている農家の方のお話を聞くことで、稲作への期待も高まりました。みんなが食べているお米にはよく見ると欠けたところがあり、そこには芽が出るための大切な部分があったことを教わると、給食の時にごはんをよく見て「へこんでいるところ、あった!」という子もいました。

そして迎えた田植えの日。地域指導者の方から、稲の根がしっかりと土の中に埋まるよう植えていくことを教わりました。初めは慣れない手つきだった子どもたちも、しっかりと泥の中に差し込まないと苗が倒れてしまうことが分かったと、上手に力を加えながら苗を植える様子が見られました。ひよこ組とうさぎ組も、クラスごとにバケツに田んぼの泥を入れ、苗を植えました。秋に美味しいお米が収穫できるよう、大切に育てていきたいと思います。



田起こし



AGRI BATON PROJECT
の方のお話



きりん組は田んぼに、うさぎ組とひよこ組はバケツに、稲の苗を植えました



田植え直後の田んぼ

土となかよし

今年度も地域指導者の方のご指導の下“栄養たっぷりのいい土になるように”と、手で土を混ぜて、土作りをしました。土の中からは、幼虫やミミズ等の生き物が出てきて、喜んで見たり触れたりする子もいました。うさぎ組ときりん組は、一人一人自分の花を植えました。土を入れる分量やポットから花の苗を取り出す方法など、地域指導者の方に確かめながら丁寧に植えていました。

クラスごとに、野菜の苗も育てています。おいしい野菜を食べられることを楽しみに水やりをしたり、生長や変化に気付いて喜んだりしています。

ひよこ組



ミニトマト

うさぎ組



ナス

ピーマン



きりん組



エダマメ



キュウリ



ポップコーン

《ビオトープクイズ》

園庭に緑色の実がなっている木があります。しばらくするとオレンジ色に変わるくだものです。
この木はなんの木でしょう？



- ① びわ
- ② キウイ
- ③ レモン

6月6日（金）の登園時まで
に、解答用紙をビオトープクイズ
応募箱に入れてください。